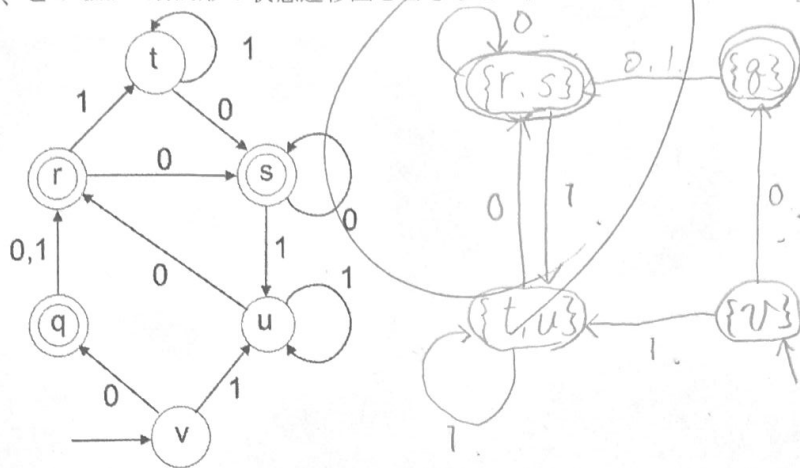


学籍番号 S1240234

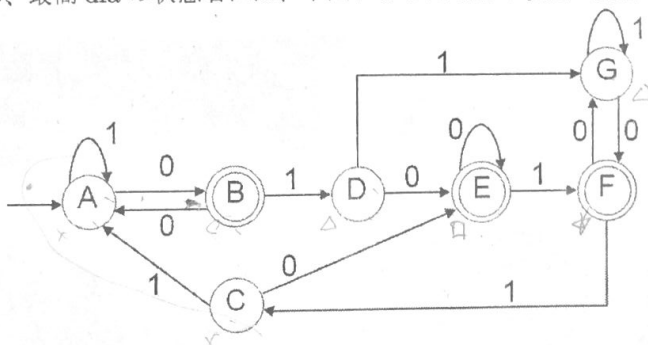
氏名 根本 優太

1. 以下の状態遷移図で表される dfa に最簡化アルゴリズムのステップ 3 までを適用した結果、状態のグループの集合 $\Gamma = \{\{r, s\}, \{q\}, \{t, u\}, \{v\}\}$ が得られたとする。最簡化アルゴリズムのステップ 4 を適用して、この dfa の最簡形の状態遷移図を書きなさい。



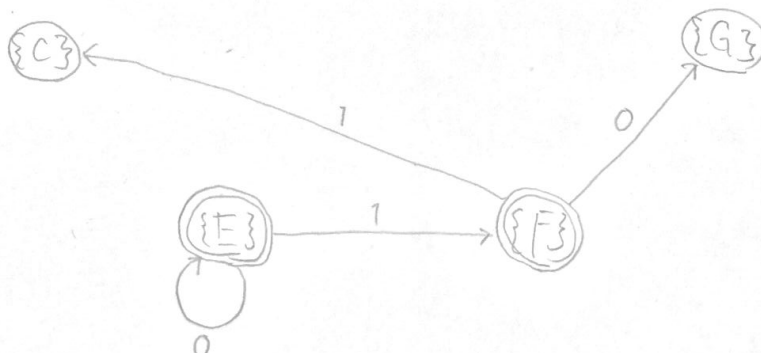
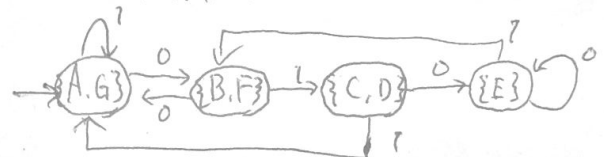
状態遷移図

2. 以下の状態遷移図で表される dfa に最簡化アルゴリズムを適用して得られる最簡 dfa を求めなさい。なお、最簡 dfa の状態名には、下図に示した dfa の状態の集合を用いること。



$\{A, C\}, \{B\}, \{D, G\}, \{E\}, \{F\}$

$\{AG\}, \{BF\}, \{CD\}, \{E\}$



以上